

2013年度第1回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

1 日時：2013年4月9日（火） 午後6時30分から午後10時まで

2 場所：八王子クリエイティブホール会議室（八王子市東町5番6号）

3 議決権のある理事：8名、出席理事：7名

出席者：座間直壯、平山恵三、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、矢崎省三、吉田徹

（事務局：堀渡、吉田光美）

4 報告及び協議事項

（1）第1号議案 会員の動向について【報告】

・3/31現在 正会員105名 3団体 賛助会員44名 2団体 計154名・団体

2012年度会費納入率 90.9%（正会員89.8% 賛助会員93.5%）

他に11年度分正会員4 賛助会員3 13年度分正会員3、賛助会員3名4口）

・2012年度会費未納者12名（正9 賛3）、うち2年分3名・団体

・2013/4/1 正会員→賛助会員 切替1名、資格喪失 正会員1名 賛助会員1名

→ 4/1現在 正会員103名 3団体 賛助会員44名 2団体 計152名・団体

（2）第2号議案 事務所の契約更新について【報告】

・3/19 2013年4月より2015年3月まで2年間の契約更新

（3）第3号議案 多摩デポ関係記事について【報告】

【多摩デポ記事】

・『西多摩新聞』第2382号（2013年2月22日）「戦時中の図書疎開 戦火を逃れた40万冊」

※主催した第16回多摩デポ講座の記事

・『図書館制度・経営論』手嶋孝典・編著 学文社（2013年1月刊）第7章 図書館政策（国・地方自治体）第3節 都道府県の図書館政策 b. 東京都の図書館政策（その2）p.52 および注

・『ず・ぼん』18号（2013年2月刊）「被災図書館支援の旅ーキャンピングカーで東北を駆け巡る 矢崎省三」の中に、矢吹町図書館蔵書ガラス片除去、第11回多摩デポ講座「図書館人としての被災地支援」、陸前高田市図書館の郷土資料レスキュー事業などの記述あり。

・『出版ニュース』3月中旬号：3.11から2年の現在は（特集）：「図書館の防災・減災のこれからを考える」 吉田光美

【共同保存図書館記事】 特になし

（4）第4号議案 図書館資料の里親探しについて【報告】

大量申込分について、A（3/9）・B（3/14）の2コースに分けて車で配達した。配達当日に担当者が不在だった館が多かったが、各館のカウンター職員の多摩デポの周知度は高く、活動が浸透していることが実感できた。

申込が無く残ったものについては、反応が無かった自治体で未所蔵のところに再度声をかける。他県の図書館や類縁機関への里親呼びかけについては、その後の状況をみて考える。

予想以上に申込があり、特に参考図書は喜ばれた。全集については、欠巻や汚破損取替補充に使われるケースも多く、全巻まとめて捌けるとは限らない。

（5）第5号議案 多摩デポブックレットの発行について【報告】

【8号について】 堀越氏にはテープ起こしの資料を送付して、補足してもらっている。著者と担当者と連絡をとり、発行に向けて進める。時間がたつだけ内容が古くなるテーマ。部数を少なくしてリスクを減らすことも検討する。

3/25 に堀越氏とお会いして打合せを行った。今からだと総会時に会員に配布は無理だが、4月中に入稿し、総会後に総会報告を会員へ送付時に完成本を同封したい、ということをお伝えした。

【9号について】

直接会って詰めるという話になっており、これから日程調整を行う。

- ・ 3/31 現在事務局在庫+2013年3月末けやき出版在庫/印刷部数(けやき出版預け)

- ① 41+54/1000(450) ② 122+44/1000(300) ③ 263+21/1400(300)
- ④ 382+43/1200(300) ⑤ 191+53/1000(400) ⑥ 327+43/1000(450)
- ⑦ 467+183/1000(300)3/31

(6) 第6号議案 2013年度総会の記念講演等について【報告】

- ・ 講師：南亮一氏（国立国会図書館関西館・図書館協力課長）
- ・ テーマ：国立国会図書館の蔵書デジタル配信事業の動向について
→南氏は、5/17の私立短期大学図書館協議会での講演「国立国会図書館の新たな動きとデータベース活用」のあと、いったん関西へ戻り、再度5/19においでくださることになった。

(7) 第7号議案 多摩デポ講座について【報告・協議】

【第16回講座】

- ・ 日時：2013年2月16日
- ・ 内容：映画『40万冊の図書』の監督に聞く ～疎開させ空襲から本を守った事跡を追う～
- ・ 講師：金高謙二氏（映画監督）
- ・ 会場：八王子クリエイトホール 視聴覚室（参加：23名）
太平洋戦争末期の空襲下に、大量の蔵書に加え大量の民間買い上げ文献を多摩に疎開させ守る取り組みをした都立図書館の事跡を発掘したドキュメンタリー映画を製作した監督の話聞いた。多彩な参加があり、この事跡を発掘していた元都立図書館職員や、かつて図書館の先輩と疎開に使われた土蔵を見学に行った地域の前図書館長、映画を受けてのあきる野市での動きを紹介する地元新聞記者など、様々な発言があった。
- ・ 蔵書疎開事業を取り上げたノンフィクション児童書、「学年別 ほんとうにあったお話 5年生」（講談社）（「戦火をのがれた四十万冊」）が3月に発行された。

【第17回以降の講座について】

- ・ 共同保存図書館実現のための現状の検証会
この10年の協力貸出の変化について多摩地域の複数の報告館にデータを交えて話してもらいたい。
- ・ 大場博幸氏（文教大学）を講師候補としたい。
下記の論文あり
大場 博幸. 安形 輝. 池内 淳 他「図書館はどのような本を所蔵しているか：2006年上半期総刊行書籍を対象とした包括的所蔵調査」日本図書館情報学会誌 8(3)191:2012.9
調査方法や“資料選択の「網羅性」という評価軸”という考え方が参考になるのではないかと。
→協議の結果、大場氏との交渉を進めることを決定。時期は6月下旬から7月夏休み前に実施を予定。

(8) 第8号議案 会計報告書類の様式変更について【協議】

2011年6月に「特定非営利活動促進法」（「NPO法」）が一部改正され、2012年4月から施行された。会計に関する部分では、法人の会計方針で定められた資金の範囲に含まれる部分の動きを表す「収支計算書」ではなく、法人の当期の正味財産の増減原因を示す「活動計算書」の作成が義

務付けられた。それに伴い東京都への報告書類の様式も変更され、「収支計算書」を「活動計算書」に、「収支予算書」を「活動予算書」に変え、新たに「計算書類の注記」に重要な会計方針を記し、事業別損益の状況も記載することになった。ただし改正法の附則では、当分の間「収支計算書」の提出も認めることになっており、前回の理事会では、当法人は 2012 年度の決算報告は旧様式で行い、2013 年度から新様式に切り替える、との方向でいったん了承された。その後東京都に問い合わせたところ原則として 2012 年度の決算から新様式を採用するように、との指示を受け、急きよその準備を進めてきた。

担当した理事からは、複式簿記を前提とした「NPO 法人会計基準」(2011 年 11 月、改正 NPO 法に対応し一部改正 NPO 法人会計基準協議会)によって書類を作成することを「計算書類の注記」に明記し、重要な会計方針についても協議してほしいとの提案があり、「活動計算書(案)」「貸借対照表(案)」「財産目録(案)」「計算書類の注記(案)」「活動予算書(案)」の説明も行なった。

協議の結果、2012 年度決算から新様式へ切り替えることを了承。会計書類についても、「重要な会計方針」を含め承認した。

(9) 第 9 号議案 2013 年度総会議案書について【協議】

事務局より提案の「議案書」について協議、何点かの修正の上、承認された。

文言の修正等は事務局で行う。

会計書類については、議案書には「活動計算書(案)」「貸借対照表(案)」「計算書類の注記(案)」「活動予算書(案)」を載せ、昨年と同じ「決算報告書」を参考として挟み込む。

役員体制については、総会で理事が選任された後に、総会の休憩をとり、新理事による互選会を開いて理事長・副理事長を互選、再開する総会に報告する。

(10) 第 10 号議案 会員(事務局員)が起した不祥事への対応について【協議】

事務局長より、事件概要と対応について、以下のように報告があった。

事務局員 1 名が、職場のデータを外部サーバに置いたことが分かり、地方公務員法(第 32 条・35 条)違反で、勤務先で処分を受けた。その過程で、事務局員として共有していた多摩デポデータの一部も外部サーバに出ていたことが分かった。データ管理上不適切な対応が判明したため、理事長と連絡を取り、本人の事情聴取および多摩デポデータ削除等の対応を行い、事務局員から外した。一般会員の個人情報には共有されておらず、漏洩のないことは確認した。

報告を受け、協議を行なった。事務局員を外すのは当然だが、多摩デポ定款の第 11 条(2)の「この法人の名誉を傷つける行為」として“当該者の除名を総会に諮る”かは、協議の結果、除名提案はせず、文書による「理事長嚴重注意」を行なうと決定した。

また、多摩デポにはこれまで個人情報取り扱いの規程がなく、情報セキュリティの規程が必要との事務局提案を受け具体的に検討したが、成案には至らず、検討を続けることになった。

(11) 第 11 号議案 多摩デポ通信 26 号の発行について【協議】

事務局提案を了承

- ・ 4 月下旬発行予定 8 ページ程度
- ・ 内容(理事長あいさつ、総会案内、総会記念講演会案内、第 16 回多摩デポ講座関連報告、投稿、都立多摩図書館住民説明会等)

(12) 第 12 号議案 新年度事務局員体制について【協議】

昨年度の事務局員に確認をとり、1 名を除き前年通りとする。

事務局長については、理事長に一任する。

5 情報交換

特になし

6 その他

★ 次回の理事会 月 日 () 午後6時半

☆ 次回の事務局会議 4月24日(水) 午後6時半 たづくり11F 1番テーブル

7 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と吉田徹理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2013年4月9日

議長

議事録署名人

議事録署名人